

# 第23回計測自動制御学会 システムインテグレーション部門講演会 (SI2022) 報告

並木 明夫\*・大川 一也\*\*

\*\*\* 千葉大学 大学院工学研究院 千葉県千葉市稲毛区弥生町 1-33  
 \*\*\* Graduate School of Engineering, Chiba University, 1-33 Yayoi-cho, Inage-ku, Chiba, Japan  
 \* E-mail: namiki@faculty.chiba-u.jp  
 \*\* E-mail: okawa@faculty.chiba-u.jp

JL 0008/23/6208-0500 ©2023 SICE

## 1. はじめに

2022年12月14日(水)から16日(金)まで、幕張メッセ国際会議場(千葉市)において、第23回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会(SI2022)を開催しました。SI部門に加え、SICE他部門や協賛団体等、多くの関係者に講演、参加、協力いただきました。ここに皆さまへの感謝の意を表しつつ、SI2022開催概要を報告します。

## 2. SI2022開催概要

SI部門講演会では、ロボット、防災・減災、医療・福祉、環境、メカトロニクス、人間機械系、情報・メディア、セキュリティ、バイオ、エネルギー、システム論ほか、多岐の分野における高機能化・複雑化するシステムの諸問題を解決するための、人間・社会・人工物を横断した俯瞰的システムインテグレーションを対象としています。特に、SI2022ではポストコロナ社会を切り拓くための「新たな価値創造に挑むシステムインテグレーション」をテーマとしました。

SIとしては3年ぶりの現地開催であり、コロナ禍前の規模の講演会が維持できるのか不安もありましたが、最終的にオーガナイズドセッションと特別セッションを合わせて64件ものセッションと839件もの多数の講演が行われ、参加者は1301名にもなり、大盛況となりました。再びこのような大規模な講演会を現地開催で行えたことを喜ばしく思います。

SI2022では、45分をコアタイムとするポスター形式のインタラクティブセッションを中心に開催しました。過去のSIで行われていた3分間のスポットライトセッションは、コロナ対策の観点から行われませんでした。代わりに、SI2020から採用されたWeb概要集を充実させ、会場でも閲覧可能にするために無線LAN接続環境を強化しました。Web概要集には、発表の概要だけでなく、動画や静止画もまとめられており、興味のある発表を選ぶためや、発表内容の予習や復習にも役立てられると好評でした。結果として、直接的な話し合いや議論を深めることができる対面講演会と、オンラインで自由にアクセスできるオンライン講演会の双方の利点を組み合わせることができたと自負しております。



図1 上段：インタラクティブセッション，下段：特別講演

## 3. 特別講演会・併催行事など

特別講演会では、東京理科大学の石川正俊学長をお招きし、「システムインテグレーションにおける独創性の発現」というテーマでご講演いただきました。石川先生は、高速ビジョンの研究開発で顕著な業績を挙げられるだけでなく、過去にSICEの会長も務められています。この特別講演では、システムインテグレーションの研究や事業化における本質的な課題や今後の展望など、非常に興味深い内容をご講演いただきました(図1)。

また、新たな試みとして、パネルディスカッション形式のOS「システムインテグレーションの学理」が開催されました。多くの参加者があり活発な討論が行われました。

併催行事としては、「RTミドルウェアコンテスト2022」と「RSNPを活用したロボットサービスコンテスト2022」が行われました。また、オンラインとなりましたが、「NEDO特別講座：ロボット共通プラットフォーム講習会」、「Sensing Solution アイデアソン・ハッカソン2022」、「マニピュレーション冬の学校」が開催されました。

## 4. さいごに

次回SI2023は、2023年12月14~16日、朱鷺メッセ(新潟市)にて開催予定です。SICE会員の皆様にご参加いただきたく思います。(2023年7月4日受付)